

江津湖レガッタ 県選手権

学園大付高 4種目V

ボートの第39回県選手権を兼ねた2017江津湖レガッタ(県ボート協会・県高体連・熊日主催)最終日の16日、熊本市の江津湖ボートコースで(1000艇)でシングルスカルなどの高校や一般の年代別決勝があった。高校と一般の上位が競う県選手権は男子ダブルスカルとかじ付きオドルブル、女子シングル

来年度平成30年は、肥後県レガッタカップで開催予定
県選手権大会

湖レガッタ(県ボート協会・県高体連・熊日主催)最終日の16日、熊本市の江津湖ボートコースで(1000艇)でシングルスカルなどの高校や一般の年代別決勝があった。高校と一般の上位が競う県選手権は男子ダブルスカルとかじ付きオドルブル、女子シングル

ルスカルとかじ付きオドルブルの4種目で学園大付高勢が頂点に立った。県選手権の男子シングルスカルは南條翔也(学園大)が3分41秒47で優勝。かじ付きオドルブルは熊本大医学部A、女子ダブルスカルは熊本大医学部Aが頂点に立った。

力の差見せる

○高校男子かじ付きオドルブル決勝は、3月の全国選抜で2位に入った学園大付Aが力の差を見つけた。3日前にメンバー1人が負傷。急ぎよる年の上村虎太郎が代わりに入って美戦に臨んだが、内藤龍一監督は「メンタルの強い選手がそろっているので、心配していなかった」。上村も「先輩たちと競う力の差を感じたが、何とか合わせることができた。いい経験になったと振り返る。照輝はインターハイ優勝。昨秋にU-19日本代表候補の練習に参加した青見輝は「選抜では最後の最後で負けてしまった。チーム全員が勝ちにこだわ意識を持って練習していくと夏の大会は奪えた。



【高校男子かじ付きオドルブル決勝】後続を引き離し優勝した学園大付A。左から茂見、小島、岩松、上村、長友=江津湖ボートコース

決勝記録

【男子】◇高校◇シングル
スカル ①青見輝(学園大付) 3分35秒49 ②小島(同) 3分37秒50 ③山下(八代清流) 3分38秒79
▽ダブルスカル ①学園大付A 3分24秒50 ②同B 3分29秒97 ③同C 3分32秒41
▽かじ付きオドルブル ①学園大付A 3分12秒76 ②八代清流 3分16秒73 ③学園大付B 3分22秒77
◇一般◇シングルスカル ①南條翔也(学園大) 3分45秒55 ②中村(KRCC) 3分47秒80 ③菅原(熊本大医学部) 3分58秒30
▽ダブルスカル ①熊本大医学部A 3分36秒57 ②熊本大医学部B 3分50秒63
▽かじ付きオドルブル ①熊本大医学部A 3分25秒82 ②同B 3分30秒63
◇選手権◇シングルスカル ①南條翔也(学園大) 3分41秒47 ②青見輝(学園大付高) 3分47秒14 ③中村(KRCC) 3分48秒49
▽ダブルスカル ①学園大付高A 3分23秒88 ②同B 3分26秒10 ③熊本大医学部 3分44秒07
▽かじ付きオドルブル ①学園大付高A 3分13秒52 ②八代清流高 3分18秒68 ③済々豊高 3分29秒16
▽かじ付きオドルブル ①熊本大医学部A 3分27秒85 ②同B 3分32秒47
【女子】◇高校◇シングル
スカル ①佐藤(菅) 学園大付) 4分22秒07 ②大重(同) 4分53秒56
▽ダブルスカル ①学園大付A 4分5秒09 ②菊池 4分15秒28
◇高校・一般◇かじ付きオドルブル ①学園大付高3 4分14秒11 ②熊本大医学部 4分44秒55
◇一般◇シングルスカル ①熊本みさき(熊本大医学部) 4分40秒38 ②田中(同) 4分46秒58 ③今村(同) 4分52秒11
▽ダブルスカル ①熊本大医学部A 3分44秒67 ②熊本大医学部 4分9秒32 ③熊本大医学部B 4分17秒37
◇選手権◇シングルスカル ①佐藤(菅) 学園大付高) 4分22秒19 ②大重(同) 4分26秒48 ③熊本(熊本大医学部) 4分48秒88
▽ダブルスカル ①熊本大医学部A 3分48秒13 ②学園大付高 4分5秒10 ③熊本大医学部 4分8秒39
▽かじ付きオドルブル ①学園大付高 3分17秒47 ②熊本大医学部 4分48秒91
【中学生】◇シングル
スカル ①朝山真乃介(学園大付中) 4分30秒64 ②河野(同) 4分46秒08
▽ダブルスカル ①学園大付中B 4分33秒72 ②同A 4分45秒63